

車両規則 使用可能シャーシ・ボディ (TRF, GT, St, Jr. Championship)

《指定ギヤ比表》ギヤ比表記載のギヤ以外の使用は一切認められません。(Jr.Championshipを除く)

シャーシ	スパー / ピニオン (ギヤ比)	シャーシ	スパー / ピニオン (ギヤ比)
TRF421	116T/30T (7.15)	TA07MS (X)	102T / 26T (7.26)
TRF420 (X)	113T / 29T (7.21)	XV-02 (RS)	70T / 25T (7.28)
TB EVO.8	66T / 23T (7.17)	TA08	116T / 30T (7.15)
TA07MS (X)	102T / 26T (7.26)	TA07	64T / 18T (7.31)
		TC-01, TB-05	63T / 22T (7.16)
		TT-02※1	68T / 24T (7.37)

※1…OP.1500ハイスピードギヤセットの装着が必要です。

●記載以外のシャーシの使用は出来ません。

●TRF・GT Championship…

●St Championship…

●Jr. ChampionshipのシャーシはTT-02各種オンロード仕様。TYPE-S系も使用可能です。

●Jr. Championshipのギヤ比は70T/24T指定となります。

《指定ボディー一覧》

GT Championship …OPウイング (OPウイングと同形状のウイング) 使用可能、他車用ウイング・ウイングステー使用不可



St Championship …OPウイング使用不可、キット標準ウイングのみ使用可能



Jr. Championship

TRF Championship

●タミヤ製ツーリングカー用ボディ

【使用不可…ライキリ GT、旧 NSX、レガシィ、VEMAC(49489/58389/84141) 及びワイドシャーシ用ボディ】

●OP ウイング (OP ウイングと同形状のウイング) 使用可能、他車用ウイング・ウイングステー使用不可

車両規則② 使用可能シャーシ・ボディ (XM Championship)・重量について

《指定ギヤ比表》ギヤ比表記載のギヤ以外の使用は一切認められません。

シャーシ	スパー / ピニオン (ギヤ比)
XM-01	70T / 29T

《指定ボディー一覧》

XM Championship



《車両最低重量規定》

車重規定による違反が予選大会から多く見られます。以下の規定を今一度ご確認ください、遵守するようにお願いします。

※規定の重量はバッテリーを搭載した状態の重量になります (AMB発信器の重量は含まない)。

各クラス最低重量

TRF・GT・ST・XM Championship : 1300g

Jr. Championship : 1350g



TAMIYA WORLD CHAMPIONSHIPS 2025
TAMIYA GRAND PRIX OFFICIAL RADIO CONTROL CAR RACE タミヤGP ワールドチャンピオン決定戦 2025

《車両規則》

- 競技車、パーツは全てタミヤ製に限られます。パーツは説明図の指定以外の方法では使用できません。樹脂パーツへの軽量化を目的とした穴開け・削り・部品の取り外しは認められますが、補強などの為に他の部品や自作パーツの追加は認められません。カーボンFRPパーツ、金属パーツへの加工は認められません。ギヤパーツへの加工も一切禁止です（安全確保のための修繕を除く）。
- マシン、オプションパーツは、大会当日時点で日本国内で販売されている物のみ使用可能（海外先行販売品は使用禁止）。
- 予選大会時に使用していたシャーシと異なるシャーシで本戦に出場することは認められます。
- 車両規定に沿ったパーツの交換は自由ですが、メインシャーシのみの交換は認められません。
- ボディ・ウイングのカットラインは説明図に準じ（ホイールアーチのカットラインも含む）、改造やウイングの無塗装状態は不可。ゴム系の接着剤やグラストープ等によるボディの補強は認められますが、ポリカーボネートを含む樹脂製品による追加補強は認められません。穴あけ加工等による軽量化も認められません。
- ダンパーステー、アッパーデッキ等は車種をまたいでの流用、重ね付けは認められません。
- オモリを搭載する場合は、車種専用のものを除き、簡素な形状の物を使用してください。オモリによる車輛の補強等は禁止とし、疑わしい場合は車検スタッフの判断で使用を禁止させていただきます。
- ボディ巻き込み防止のための追加部品の装着、TC-01のフォーミュラEボディ搭載用ボディポストによるボディの押さえ等は認められません。
- TT-02シャーシでは説明図記載外のリヤバンパーの追加は認められません。
- ギヤ比表記載のギヤ以外の使用は一切認められません。
- オイル封入式ギヤデフには、タミヤ製ダンパーオイルおよびデフオイル、ギヤデフ用ガム、グリスが使用できます。
- タイヤ、インナー、ホイールは一切無加工。リブがサスアームに干渉する場合にはアップライトやサスアーム等を削る事が認められます。ゴムタイヤはショルダー部分などを削る加工は認められません。
- 事前車検を受けたマシンにはチェックシールが添付され、マーキングが施されます（チェックシール、マーキングのないマシンでは予選以降は出走ができません）。スペアカーの使用も認められますが、事前に車検を受けておく必要があります（大会の予選と決勝レースで変更することは認められます）。スペアカーは同一車種系統内に限られます。（例：TRF420XとTRF420は可。TRF420XとTRF421は不可）。メインシャーシのみではスペアカーとは認められません。メインマシンの車検終了後にスペアカーの車検を追加で行う事は出来ません。
- アルミパーツの加工は認められません。アルミロワデッキやアルミサスマウント等の走行による摩耗を、安全確保のために修繕する事は認められます。
- 車検時にマーキングを受けたピニオンギヤ以外は使用出来ません。マーキングが消えてしまった場合は、再車検場で再度マーキングを受けてください。
- ボディマウントポストの左右を連結するボディマウントメンバー又はトランスポンダーホルダーは「材質」及び「固定・非固定」を問わず前後各1ヶのみ装着が可能です（自作パーツの場合は軟質素材に限ります）。
※会場で一部RCパーツの販売も行われますが、なるべく事前にパーツをご準備することをお勧めします。
- ボディポストによるボディの取り付けは4箇所まで認められます。ボディ取り付け以外の用途では使用出来ません。
- **TRF421用部品「バンパーサポート(13404162)」をTA08 (R) に転用する事はできません。**
- **樹脂製シャーシについて、メインシャーシと前後バンパー、底面への加工及び追加物の搭載は禁止です。**

レギュレーションについて①

今大会では 11/14（金）の午後（詳細は別紙）、15 日（土）開会式の前に事前車検を行います。但し、事前車検が全てではありません。走行終了後の再車検で違反が発覚した場合は**レースタイム抹消**の対象となります。ご不明な点は事前にお電話にてお問い合わせください。

※その他レギュレーションについては「タミヤグランプリ車両規則追記事項」に準じます。

お問い合わせ先 **タミヤグランプリ係：054-283-0002**

《バッテリーについて》

- 今大会では「55102 タミヤLF2200-6.6V レーシングパック」のみ使用可能。原則は一切無改造。バッテリー側コネクタの変更、カバーの取り外しなどは認められません。ただし、変換コネクタを使用せずESC側をT型コネクタに変更することは認められます。
- LFバッテリーにシュリンクチューブの使用は認められません。バッテリー温度を外部より上昇させたり、外気と遮断するような行為、加工は禁止されます。ただし、バッテリーの傷防止用として両端（幅1cm以内）に保護用テープを巻くことは可能です（透明な物に限る）。
- 充電は危険を伴う場合があります。充電中は目を離さないように注意を心がけましょう。過度な急速充放電や異常な充電方法はバッテリー性能の劣化を招き、使用不能になる場合があります。※充電機器類の取扱いには十分お気を付けください。
- タミヤ製バッテリーは説明書をよくお読みの上、使用する充電器の説明書の方法に従って充電を行ってください（タミヤ製充電器以外での充電は保証対象外となります）。
- 出走前、全選手にバッテリーの電圧チェックと温度チェックを実施します。電圧が7.3Vを超えた場合及び、温度が指定バッテリーより+5℃以上の場合には出走できません（スタッフの指示に従い、空回しなどを行なって電圧を下げてください）。また、電圧、温度チェック後にピットスペースに戻る事は出来ません。戻った場合は再度計測します。
※電圧・温度チェックは走行マシンに搭載した状態で計測します。
- ピットスペース以外での充電行為は禁止です。
- バッテリーウォーマー類（バッテリーを温める効果のあるもの全て）の使用は禁止です。またバッテリーケースなどのケース類に入れて充電することはできません。
- バッテリーのシールに切断や大きなはがれ等痕跡のある物は使用できません。
- 他の選手のバッテリーを充電することは禁止です。
- 電圧及び温度チェックで3回以上不合格になった場合、そのレースへの出走は認められません。
- **故意にバッテリーの温度を上下させる行為は禁止です（例：パーツクリーナー等を吹きかけ、表面温度を一時的に下げるなど）。**

↑ 2025/10/24 追加

レギュレーションについて①

《各クラス追加事項》

●【TRF・GT・Jr. Championship】

・OPウイング使用時には各ボディ説明図に従って装着してください（樹脂パーツを必要とするものもあります）。

●TRF421用部品「バンパーサポート(13404162)」をTA08 (R) に転用する事はできません。

●TRF・GT Championshipクラスは左右ボディへミラーを必ず装着してください（ミラー形状は車種を問いません）。

レギュレーションについて②

《ブラシレスモーター、ESC(アンプ)、サーボ等について》

- ブラシレスモーターのエンドベル部分のビスはしっかりと締めた上でレースに参加してください。予選、決勝レースともに、走行終了後の車検時にエンドベル部分の進角調整用ダイヤルの可動が発覚した場合は、レースタイムの抹消とさせていただきますのでご注意ください。

- 各クラス、使用するモーターは各自でご用意ください。

クラス指定モーター×ESC

各モーター上限KV値

St・Jr. Championship : TBLM-02S(17.5T)×TBLE-04S・04SR

TBLM-02S (17.5T) : 2,200まで

XM・GT Championship : TBLM-02S(15.5T)×TBLE-04S・04SR

TBLM-02S (15.5T) : 2,500まで

TRF Championship : TBLM-02S(10.5T)×TBLE-04SR

TBLM-02S (10.5T) : 3,630まで

- KV値チェックを容易にするため、ESC(アンプ)とモーターの『配線直付け』は禁止いたします。
- ブラシレスモーターのESC(アンプ)へのキャパシターの追加、変更などは認められません。
- センサーケーブルは必ずタミヤ製を使用してください。ESC(アンプ)同梱品もしくはOP.1317、OP.1318、OP.1381を使用してください(加工不可、ヴォラックBL2同梱品は使用不可)。
- TGU-01は、全てのクラスで使用不可。同様の効果を発揮する他社製品の使用も認められません。
- アルミダイレクトサーボホーン(42248、42249)はTRFクラスに限り、使用可能。
- サーボの取付位置は説明図記載に準じ、サーボステーの取付位置の変更は認められません。
- サーボセイバースプリングを追加で外周に取り付ける改造は認められます(1枚のみ)。但し、接着剤等で固定し、ダイレクト仕様に改造する行為は違反となります。ナイロンバンド等を使用しての補強、固定も認められません。
- 小型ファンなどのモーターやアンプ等の冷却を目的としたパーツを追加で装着することは認められません。
- 受信機用の別電源の搭載は禁止(受信機へ直接接続するタイプのキャパシターも不可)。

- ・ ワールドチャンピオン決定戦では、予選大会以上により厳密に車検が行われます。今一度ご自身のマシンをご確認いただき、レギュレーション違反のないよう注意してください(使用マシン、バッテリー、モーターなどがレギュレーションに抵触している場合、使用する選手が責任を負います)。
 - ・ 車検の際は、車検員の指示に従ってください。予選大会と異なる、また追加されたレギュレーションもありますので、必ずご確認ください。
- ご不明な点は事前にお問い合わせください。